

二死の時、捕手が走者に出ている場合、代わりの選手（9番目の打者）を走者とすることができる（攻撃側の選択権）。間違った選手が 'Temporary Runner' に出た際は正しい選手と交代させる。

ここでいう9番目の打者とは、捕手の打順（例えば5番）から見て、最後の打者（この例では4番）で、出塁していない走者をいう。

〈効果〉

(1)ペナルティーはなし

(2)テンポラリーランナー（略：TR）の記録はその選手（Temporary Runner）につける。

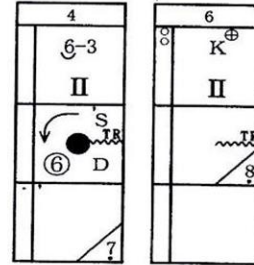
【スコアリングマニュアル：事例21-27】

4回表、二死走者なし。5番打者・E（捕手）が死球で出塁。テンポラリーランナーとして、4番打者・D（#8）と交代。その後、6番打者の初球に盗塁後、左前安打で生還した。盗塁および得点の記録はどうか。

さらに6回表、二死から5番打者・E（捕手）が中前安打で出塁。テンポラリーランナーとして、再び4番打者D（#8）と交代したが可能か。

事例21-27

| 位置 | 選手名 | UN |
|----|-----|----|
| 7 | D | 8 |
| 6 | | |
| 5 | E | 12 |
| TR | D | 8 |
| 4 | | |
| 3 | | |
| 2 | | |
| 1 | F | 19 |
| | | 6 |



4回の盗塁と得点は、4番打者・D（#8）に記録する。

また、交代の条件に合致しているの、6回に再度テンポラリーランナーに入ることは可能である。

注：スコアカード上の打撃集計は5番打者として記帳するが、PCによる集計では4番打者で合算する。

注：攻撃終了後、捕手が守備に戻る時、再出場ではないので通告は不要であることに注意する。

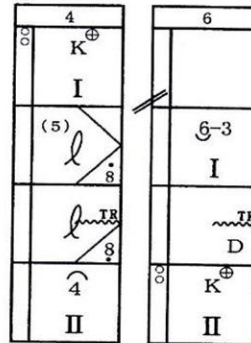
【スコアリングマニュアル：事例21-28】

4回表、一死走者二塁。5番打者・E（捕手）が中前安打し一・三塁となった。続く6番打者が二塁フライで二死となったので、テンポラリーランナーとして3番打者・C（#20）と交代したがこれで良いか。

さらに6回表、一死走者なし、5番打者・E（捕手）が死球で出塁。続く6番打者が三振し、二死となったので、テンポラリーランナーとして4番打者・D（#8）に交代した。

事例21-28

| 位置 | 選手名 | UN |
|----|-----|----|
| DP | C | 20 |
| 6 | | |
| 5 | E | 12 |
| TR | C | 20 |
| TR | D | 8 |
| 4 | | |
| 3 | | |
| 2 | | |
| 1 | F | 19 |
| | | 6 |



Eが中前安打で出塁したときは一死なのでテンポラリーランナーは使用できないが、6番打者がアウト（二死）になった後であればいつでもテンポラリーランナーを使用できる。

テンポラリーランナーとなる選手は捕手の前の打順の者である。しかし、その選手が走者として出塁している場合は、さらに前の打順の選手がテンポラリーランナーとなる。従って、この交代は可能であり、この走者の残塁は3番打者・Cに記録する。

6回も同様に扱い、一死一塁の状況でテンポラリーランナーは使用できないが、二死となれば使用可能である。

放送原稿（案）

「選手の交代をお知らせします。一塁走者・E（#12）に代わり、テンポラリーランナーとして、ユニフォームナンバー（#8）が出場します。」

「テンポラリーランナーとは、二死で、捕手が走者として出塁している場合、一時的に代走に入る走者を言い、捕手の打順から見て、出塁していない最後の打者が入ります」